



ナンシー・バーグマン
ン
局長

カリフォルニア州保健福祉庁
発達障害サービス局
1215 O Street, Sacramento, CA 95814
www.dds.ca.gov



ギャビン・ニューサム
ーサム
知事

2024年7月2日

宛先： 地域センター事務局長

件名： 自己決定プログラム：初回本人主体計画と登録前の移行支援に関するガイダンス

本通信の目的は、自己決定プログラム（SDP）参加候補者が利用できる初回本人主体計画（Initial Person-Centered Plan）と登録前の移行支援に関するガイダンスを提供することです。このガイダンスは、[2023年12月22日](#)付の発達障害サービス局のガイダンスに代わるものであり、規則が採択されるまでの間、当局にプログラム指令または類似の指示を発行する権限を与える福祉施設法（Welfare and Institutions Code）第4685.8条(p)(2)に従って発行されたものです。

2023年12月22日のガイダンスからの主な変更点は以下に関するものです。

- 一般自立支援が参加者主体サービスを通じて利用できるようになりました。
- 登録前の移行支援に関するさまざまなオプションの利用可能性についてスケジュールを更新しました。
- 地域センターの報告要件が改訂されました。
- 支払いを受け取る際の条件。
- セルフアドボカシーにおける一般自立支援の役割。

当局は、SDP参加候補者向けに、登録前の移行支援オプションを確実に支援することを約束します。地域センターのサービスコーディネーターや地域ボランティア諮問委員会の実施資金を通じて利用できる支援に加えて、SDP参加候補者は有償の支援を利用することができます。本通信は以下の情報を提供します。

- A. 初回本人主体計画
- B. 地域センター委託先による一般的な自立支援、または参加者主体サービス
- C. 従前の2,500ドルの期間限定オプション
- D. 請求条件
- E. 地域センターによる移行支援状況の報告

A. 初回本人主体計画

SDPのオリエンテーションを修了したSDP参加候補者は、初回本人主体計画の作成を依頼することができます。本人主体計画は、本人が自分の目標を目指して努力できるように、将来の人生像を記載するものです。これは、参加候補者の強み、能力、好み、ライフスタイル、そして文化に基づくもので、個別プログラム計画（Individual Program Plan: IPP）の策定に役立てることができます。

地域センターは、初回本人主体計画について以下のいずれかの者から購入し最大1,000ドルの支払いを行うことができます。

- 本人主体計画サービスを提供する委託先プロバイダー。
- 本人主体計画/促進プロセスに関するトレーニングまたは認定を受けていることを証明した、委託先以外のプロバイダー。委託先以外のプロバイダーへの支払いは、サービスコード024の「購入代金の払い戻し」として行われます。サービスコード024に基づくこのサービスに対する支払いは、本人主体計画サービスプロバイダーとしての委託先認定を必要としません。

地域センターは、本人中心の計画プロセスについて知人など周囲からの支援が受けられず、初回本人主体計画に時間を要する場合、希望言語が英語以外の場合、または障害の影響により高いレベルのサービスが必要な場合、ケースバイケースで支払いを増やすことができます。支払いは、地域センターがSDPの参加候補者の同意に基づく初回本人主体計画書が交付されたことを示す請求書を受領した後にのみ行うことができます。

初回本人主体計画プロセスは、本人の選択とニーズに基づき、本人、プロバイダー、およびIPPチームの合意に従って、対面またはリモートで提供することができます。

B. 一般自立支援

一般自立（SD）支援とは、SDPへの登録を成功させるためにご本人やご家族、代理人が必要とするコーチングやトレーニングに対する支援です。一般SD支援は、SDPのオリエンテーション後、参加候補者がSDPに登録される前に提供されることが許可されています。

一般SD支援を希望する場合、以下の選択肢があります。

- 委託先サービスプロバイダー（サービスコード 099）
- 参加者主体サービス（サービスコード099、サブコード「PDS」）を通じて選択した有資格のプロバイダー

サービスの定義と料金は、委託先プロバイダーによる一般SD支援と参加者主体サービスによる一般SD支援で同じです。一般SDサービスの定義は、付録Aに記載されています。参加者主体サービスを通じて提供されるものを含め、[一般SD支援の時間単価](#)は、当局により設定されます。

地域センターは一般SD支援を40時間まで許可することができます。一般SD支援委託先は、SDP参加候補者のIPPチームに、提供予定の移行サービス案に関する情報と時間の見積もりを書面で提供するものとします。

SDPへの移行を成功させるために、より集中的な支援が必要なSDP参加候補者（ご本人やご家族に登録プロセスを支援できる人が周囲にいない場合、使用言語が英語以外の場合、または障害の影響でより高いレベルのサービスが必要な場合）については、IPPチームが追加の労働時間を要求し、地域センターがケースバイケースで許可することができます。

一般SD支援は、SDP参加者候補の選択とニーズに基づき、ご本人、プロバイダー、およびIPPチームの合意に従って、対面またはリモートで提供することができます。

委託先サービスと参加者主体サービスの一般SD支援に関する情報

地域センターを通じて委託される一般SD支援

このサービスの委託先認定を希望するプロバイダーは、[2023年3月20日付の指令](#)に記載されている標準化された委託先パケットを、委託先となる地域センターの地域サービスチームに提出するものとします。

慣例として、一般SD支援プロバイダーについては、各地域センターのサービスエリアごとに個別の委託先認定を行う必要ありません。一般SD支援を提供するプロバイダーが、新しいサービスエリアの委託先になることを希望する場合、このプロセスを開始するため、新たに地域センターに通知します。

カリフォルニア州規則第17章第54302条から第54334条に記載されている委託先要件、および第54380条から第54390条に記載されている委託先登録に関する不服申し立て手続きが適用されます。

地域センターは、サービスコードを通じて委託先サービスを認可するものとします。

- 一般SD支援（サービスコード099）

参加者主体サービスによる一般SD支援

参加者主体サービス（PDS）による一般SD支援は、2024年8月1日から利用できるオプションです。PDSは、サービスの提供方法や提供者について、ご本人がより大きな権限を行使するオプションを提供します。

PDSによる一般SD支援は、財務管理サービス（FMS）を通じて支払われるものとします。

一般SD支援プロバイダー候補は、支払いを受ける資格を得るために、以下の必要書類をFMSに提出するものとします。

- [SDP一般自立支援 - 資格および同意フォーム](#)
- [在宅・地域ベースのサービスプロバイダー契約書](#)
- プロバイダーの適格性および支払い処理法を決定するためにFMSが要求するその他の書類（事業許可証または支払発行に関する情報など）。

FMSは、一般SD支援のプロバイダーが、福祉施設法第9編第3部に従い、メディケイドサービスを提供する資格があることを確認するものとします。

地域センターは、サービスコードによる2つの別々の承認としてPDSに資金を提供するものとします。

- 一般SD支援（サービスコード099、サブコード「PDS」）
- 財務代理人（サービスコード490）。

PDSを通じて一般SD支援を提供する場合、地域センターの委託先認定は不要です。PDSによる一般SD支援の料金は、一般SD支援の委託先の料金と同じです。PDSを通じて一般SD支援にアクセスするためのガイドは、付録Bに記載されています。

C. 従前の2,500ドルの期間限定オプション

一般SD支援がPDSとして利用できるようになるまでの時間を考慮して、移行支援と本人中心計画のために最大2,500ドルが購入代金の払い戻し（サービスコード024）を通じて支払われるオプションは、[2021年7月15日](#)付けのガイダンスに記載されている通り、2024年12月31日まで継続されます。発効日2024年11月1日、プロバイダーは、このオプションを通じてサービスを提供するための新規紹介の受け付けを終了し、このオプションを通じて登録手続き中のプロバイダーは、SDP参加候補者およびその計画チームと面談し、完了までのスケジュールを確認する必要があります。

- このオプションを選択したSDP参加候補者は、以下に説明する一般SD支援と初回本人主体計画を選択することはできません。
- これらのサービスの請求については、以下のセクションDをご覧ください。

D. 初回本人主体計画と一般SD支援の支払い

購入代金の払い戻し（サービスコード024）またはPDS（サービスコード099、サブコード「PDS」）を通じて請求される初回本人主体計画および移行前支援はすべて、請求書の受領後、地域センターまたはFMSによって適時に支払われるものとします。請求書には、最低限以下の事項を記載するものとします（サンプルテンプレートは付録Cを参照）。

- 時間単価
- 各サービス/タスクの提供日
- 実施されたサービス/タスクの内容
- 請求書に記載された期間中に提供された各サービス/タスクに費やされた時間、およびそのサービスの日割計算費用

地域センターに委託先認定を受けた一般SD支援のプロバイダーは、請求プロセスについて地域センターと協力するものとします。地域センターは、一般SD支援委託先プロバイダーに対し、付録Cに含まれる請求書テンプレートのサンプルに従って請求するよう求めます。

初回本人主体計画およびFMS移行前支援に対する支払いは、地域センターまたはFMSプロバイダーが、地域センターが許可した単価および時間数で全額支払うものとします。本人にサービスを提供するプロバイダーは、

ご本人（または経済的責任を負う親族や代理人）から、これらのサービスに対する追加支払額を徴収しようとはなりません。

E. 地域センターによる報告

2024年8月1日から2024年12月31日まで、地域センターは以下の情報を含む月次報告書を当局に提出するものとします。

- 一般SD支援のアクティブな委託先の数
- 一般SD支援で申請中の委託先の数
- PDSを提供するために委託先認定され、現在一般SD支援プロバイダーにFMSサービスを提供しているFMSの数
- 委託先認定された一般SD支援プロバイダーおよび参加者主体SD支援プロバイダーの能力構築のための措置の説明
- 委託先サービスプロバイダーを必要としない、登録前移行支援の能力構築のためのその他の措置の内容

当局は、このガイダンスの発行から14日以内に、オンライン報告プラットフォームへのリンクをメールで地域センターに送付します。

参加者またはそのご家族の方で、本通信についてご質問のある場合は、地域センターのサービスコーディネーターにお問い合わせください。一般SD支援申請者からのご質問は、地域センターにお問い合わせください。地域センターはsdp@dds.ca.govまでお問い合わせください。

敬具

原本署名：

ブライアン・ウィンフィールド（BRIAN WINFIELD）

局次長（Chief Deputy Director）付録

cc： 地域センター管理者（Regional Center Administrators）
地域センター消費者サービス担当ディレクター（Regional Center Directors of Consumer Services）
地域センターコミュニティサービス担当ディレクター（Regional Center Community Services Directors）
地域センター機関協会（Association of Regional Center Agencies）
発達障害に関する州カウンスル（State Council on Developmental Disabilities）
ナンシー・バークマン（発達障害サービス局）
カーラ・カスタニェーダ（発達障害サービス局）
アーニー・クルス（発達障害サービス局）
ジム・ナイト（発達障害サービス局）
キャスリーン・デンプシー（発達障害サービス局）